

令和 6 年度 庄内南部定住自立圏共生ビジョン懇談会（会議概要）

- 日 時 令和 6 年 11 月 21 日（木） 午後 2 時から午後 2 時 50 分まで
- 会 場 鶴岡市役所 別棟 2 号館 21・22・23 号会議室
- 出 席 者 別添のとおり
- 次 第
 - 1. 開会 : 進行 齋藤企画部政策企画課長
 - 2. あいさつ : 武田会長
 - 3. 協議 : 協議資料説明 政策企画課 大滝
 - （1）庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第 3 次）の取組及び改定について
 - （2）その他
 - 4. 閉会 : 進行 齋藤企画部政策企画課長

協議での意見等

■産業振興分野

○委員

- ・「地域産材利活用の推進」について、三川町でも関連事業を行っているが、事業費見込みが 0 になっているのはなぜか。（資料 2、32 頁関連）
- （三川町事務局）リフォーム支援事業に県産木材の利用要件は設けているが、県産木材の利用での申請の実績がこれまで無かった。事業費見込みも現状値を採用していたので、令和 9 年度までの見込みとして金額をあげることができなかった。
- （委員）これまでの実績が無いことはわかったが、三川町が取り組むということとで実施している事業であることから、計画として事業費見込みにはあげていかなないと取組の姿勢が疑われるのではなかと思うので、記載について再検討いただきたいと思う。

○委員

- ・「育苗施設等農業施設の相互利用」の花き育苗施設の活用支援の補助事業について、行政の予算の都合もあると思うが、会員価格とそれ以外の方の利用価格の差額が全額補助されるようよろしく願いたい。（資料 2、18・19 頁関連）
- （農政課長）詳しい資料が手元に無く後ほど確認するが、鶴岡市では、苗の購入費の「1/3 または会員価格との差額のいずれか低い方」を支援しており、会員価格との差額（5%～10%の価格差）は全額補助できている。三川町は花き農家がほぼいないので事業費見込みは 0 としている。

○委員

- ・庄内広域育成牧場は旧羽黒町と J A 庄内たがわの出資金、利用料等で活動を開始し、現在は庄内全域から放牧を受け入れている。近年放牧頭数や戸数が伸び悩んでおり、牧場の円滑な運営の維持のため、施設利用の拡大を関係者全体で検討していく必要がある。（資料 2、18・19 頁関連）

- **(農政課長)** 利用拡大は重要な課題と認識しており、庄内南部 1 市 2 町及び酒田市、遊佐町、4 農協の各関係機関が負担金分担金を拠出して牧場運営を支援している「庄内広域育成牧場運営協議会」において、このご意見を共有したい。

○委員

- ・「圏域観光の魅力発信の連携強化」について、K P I としている「外国人延べ宿泊者数」の令和 5 年度の実績が 9,808 人となっている。目標の 40,000 人を達成するために今後どのように取り組んでいくのか。(資料 2、24 頁関連)
- **(観光物産課長)** 鶴岡市では令和 6 年 3 月に中期観光戦略プランを策定している。その中で広域ネットワーク、I T ネットワークを掲げており、本圏域のエリアだけではなく東北管内の周遊事業や外国へのプロモーションなどを通じ流入人口を増やす取組を行っている。情報を発信し、発信した先で更に口コミなどで波及効果が得られるような取組も行っている。このような取組を行い、目標の 40,000 人を達成したいと考えている。

■地域内外の住民との交流・移住促進分野

○委員

- ・鶴岡・清川線が令和 7 年 3 月で廃止になると伺ったが、鶴岡・酒田線も近い将来同じような状況になるのではないかと心配している。当町は電車も通っていないので、バス路線が無くなると公共交通の手段が無くなる。また、当町の場合は高校生の通学に対しても保護者の負担がかなり大きい。3 市町だけでは解決できない部分もあるのかもしれないが、交通弱者のためにも、公共交通ネットワークは圏域全体で考えてほしいと思う。(資料 5、29 頁関連)
- **(企画部長)** 鶴岡・酒田線については、交通事業者から今後どのような展望になるのかは現在のところ伺っていないが、どの路線も将来的には利用者が今後増えていくということは考えにくい。行政としては、利用者が増えていくように取り組み、交通事業者と連携しどのように公共交通を維持していくか考えていく必要がある。鶴岡・清川線の廃止が決定しているが、庄内町と現在代替手段を協議しているところである。このようなことも含め、地域公共交通の課題には広域で検討していきたいと思う。

■その他

○委員

- ・庄内北部定住自立圏とは連携はあるのか。
- **(企画部長)** 定住自立圏の制度としては、北部と南部で定期的に会議などは行っていないが、個別事業の中では連携している。例えば、公共交通では鶴岡・酒田線、医療では日本海病院と荘内病院などそれぞれの部局で連携している。

庄内南部定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

敬称略

関係分野	No	所 属	職 名	氏 名	備考
医療	1	鶴岡地区医師会	事務局長	土屋 清光	
	2	鶴岡地区歯科医師会	会長 代理：事務長	毛呂 光一 代理：大須賀多美子	
子育て	3	鶴岡市民生児童委員協議会 連合会	会長 代理：常務理事	阿部 和廣 代理：五十嵐和喜	
福祉	4	鶴岡市社会福祉協議会	会長	山木 知也	
産業振興	5	鶴岡市農業協同組合	理事参事	前田 資生	欠席
	6	庄内たがわ農業協同組合	代表理事専務	小林 馨	
	7	赤川漁業協同組合	代表理事組合長	長谷川 幸吉	欠席
	8	鶴岡商工会議所	事務局長	七森 玲子	
	9	出羽商工会	事務局長	池田ゆり子	
	10	出羽庄内森林組合	参事	吉田 直之	
	11	一般社団法人 DEGAM 鶴岡ツ ーリズムビューロー	事業課長	押井 和春	欠席
	12	庄内地域産業振興センター	事務局長	小林 時男	欠席
住民代表	13	鶴岡青年会議所	専務理事	佐藤 天哉	欠席
	14	東北公益文科大学大学院	公益学研究科長	武田真理子	
	15	鶴岡市社会教育委員	委員	大久保紀子	欠席
	16	三川町振興審議会	会長	熊田 洋勝	欠席
	17	三川町振興審議会	会長職務代理者	石川 修一	
	18	庄内町振興審議会	委員	佐藤 道子	欠席
	19	庄内町行政改革推進委員会	副委員長	原田 周子	